

# いとう 英治 通信

～三原・世羅 & 広島のために～

過去に学び、現代と向き合い、未来を切り拓く

広島県議会議員  
(三原市・世羅郡区)

発行：伊藤英治事務所 〒723-0146 三原市沼田東町納所27番地  
TEL：0848-60-9022 発行日：令和7年9月30日 討議資料

## 令和7年度 6月補正予算

「令和7年度当初予算編成後の状況変化等を踏まえ、  
必要性が認められる取組について、時機を逃さず実施する」

- 1 物価高による影響の緩和
  - ・ LPガス料金高騰に対する支援(343百万円)
  - ・ 特別電圧電気料金高騰に対する中小事業者等への支援(293百万円)
- 2 県民が抱く不安を軽減し「安心」につなげる
  - ・ 高等学校等の授業料負担の軽減(1,753百万円)
  - ・ 公立学校等の学用品等の教育費負担に対する支援(29百万円)
  - ・ 災害時における歯科保健医療提供体制の確保(19百万円)
  - ・ 産科医療提供体制の確保(23百万円)
- 3 特性を生かした適散・適集な地域づくり
  - ・ 芸備線再構築協議会による実証事業等への費用負担(13百万円)



## 委員会



### 常任委員会

警察・商工労働委員会の委員長を拝命しました。  
責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。

(議会閉会中における)調査事件

- 1 交通指導取締り及び交通安全施設整備対策調査の件
- 2 青少年の非行防止及び各種犯罪の取締り対策調査の件
- 3 産業の振興及び企業誘致対策調査の件
- 4 土地造成事業の経営状況調査の件
- 5 観光振興対策調査の件
- 6 人材確保及び雇用労働対策調査の件



### 特別委員会

#### 産業競争力強化・人手不足対策特別委員会 委員

- (調査事件) 1 広島の強みを生かした本県産業の競争力強化、先端・成長産業の集積の強化及び地場産業の活性化に関する調査の件
- 2 業界横断的な人手不足対策の推進、職業教育・人的資本経営など人への投資の強化及び外国人材の受入環境の整備に関する調査の件

## 委員長報告

産業競争力強化・地球温暖化対策特別委員会委員長として、2年間活動してきた報告書を議長に手交。スタートアップや中小企業への支援、公共施設での太陽光発電の設置や瀬戸内海域における藻場の拡充等々、必要な事業を産業と環境の両面からしっかり進めて行く重要性を報告しました。





## 豪雨対策 菅川+本郷橋

本郷町の菅川は平成30年豪雨災害において氾濫を起こし、地域に甚大な被害をもたらしました。令和5年に災害復旧工事は完了したが、災害の要因の一つである鉄橋を原因とするバックウォーター問題は未解決のままです。県議になって直ぐこの件について執行部と協議しましたが、山陽本線の鉄橋と横断歩道が隣接し、路線の変更あるいは鉄橋の架け替えには莫大な費用と長期間必要であり、非常に困難とのことでした。

しかしながら、この地域では何度も浸水被害が起こっており、亡くなる人まで出た事実を放っておくわけにはいかず、状況を改善する必要があります。

その解決策として、平成30年豪雨と同程度の雨量であっても、菅川の水位が鉄橋より低くなるようにすることが重要です。そのためには、沼田川本川の水位をいかに下げるかに着目します。その方法として、片山頭首工にある堰の解体撤去、及び、その周辺の河床掘削を行え

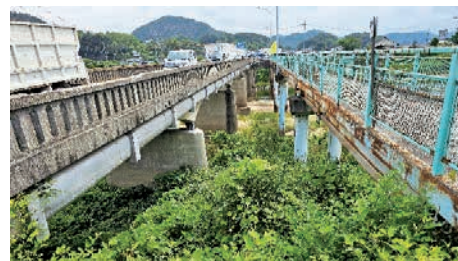
ば水位を下げる事が可能です。もう一つ解決しなければならないのは、その付近には本郷橋が架かっており、河床掘削を行った場合、橋脚の補強が必要になります。本郷橋の橋脚は6基もあり現状でも川の流れを阻害しているのに、補強することにより、より流れが悪くなるとすると本末転倒です。また、歩道橋が別途設置され別途橋脚がある事も問題と捉えています。そこで、本郷橋は歩道橋と一体化し、橋脚を少なくする方法で架け替えを行うべきです。また、本郷橋東詰めは、変則的な交差点で危険であり、西詰交差点の近くでは消防西部分署が建設中であり、機動力を発揮するためには本郷橋の整備はもとより、周辺県道の整備も必要であると考えています。これらを進めるには大きな予算が必要となる為、本年6月の建設委員会において質疑し、次期「川づくり実施計画」と「道路整備計画」に位置付けていただくよう、しっかりと要望しました。



菅川と沼田川本川の合流地点



菅川に架かる鉄橋



本郷橋と歩道橋

## 守れる農地を守り切る

県内の米作農家の平均年齢が70才を超え、後継者問題もあり大変厳しい状況にあります。どうすれば農地を守り県民の食を守れるのか考えています。

個人で農地を守り、稲作を守っておられる方々にもできるだけ続けていただきたいという思いもありますが、10年後20年後を考えた時、コストや人材・後継者の面から法人が成り立つ施策を考える必要があります。以下にご紹介するのは、その活動の一例です。

三原市沼田東町地域では50年以上前に圃場整備が行われましたが、当時は、1枚三反が中心の整備だったそうです。これから田んぼ1枚を1町以上(3倍)の広い圃場に整備しなおせば、効率が上がりコスト低減ができると考えています。

そこで、県の執行部にお願いし、土地改良区と一部法人の方々に対して、圃場再整備について説明と意見交換していただきました。多くの皆様のご理解とご協力が必要なので、大変なこととは思いますが。お米の作り手も消費者も守れる農政を進めるためには、先ずは、生産者のご苦勞が報われる状況を作り出すことが重要と考えています。



## 防 災

広島県と広島県瓦工事業組合連合会で、災害時における住宅の応急処置に関する協定の締結を実現するのに尽力しました。この度、勉強会と屋根のシート貼りの研修会が行われました。屋根の形状や瓦の種類はいろいろあり、シート張りする方法も各社各様ですが、他社の方法を体験することにより、自社の方法に磨きをかけていただければと思います。



あいさつ



座 学



実地演習

## 国 際 交 流

人・文化や経済等の交流は、広島県の発展に欠かせないものです。写真はメキシコ・グアナフアト州との交流で、現地には広島県の企業も多く進出しており、相互理解による相互発展の礎になっています。本年新たな議員連盟が立ち上がり、インドとの交流が始まりました。





## 合併20周年

三原市、世羅町とも合併して20周年を迎えました。

三原市は、(豊田郡)本郷町、(御調郡)久井町、(賀茂郡)大和町との対等合併により、新しい三原市が誕生しました。当時国は地方の自立を促す目的で、地域の再編を行ったように感じていました。どうせ合併が進むのであれば、自分たちで未来を描こうと青年会議所が「住民による合併を考える会」を立ち上げ、様々な活動を行いました。メンバーであった私も各地域を回り、住民会議(若い世代から高齢者まで参加)を開き、どことどのような形での合併が良いのか喧々囂々真剣に考えたものでした。最終的には県が枠組みを発表することになるのですが、それまでに住民の意向を伝えようと活動しました。機運を盛り上げるため、当時の機関紙であった「やつさもつさ」で「誕生！小早川市」と一面に小早川市構想を発表して、物議をかもしたこともありました。

若い現役世代が、まちの未来を考え・行動することの重要性は、どの時代にあっても変わらないと思っていますし、政治への関心がまちの未来と人の生活に大きな影響を及ぼすことを活動を通して感じたのを思い出します。



## 巡視艇



巡視艇「からたち」が就役しました。海上保安庁が運用する小型船舶で、港内や沿岸部での警備・救難などの業務に従事してもらいます。夜間の監視装置や電光掲示板といった新しい

装備に加え、感染症患者の搬送にも対応できるようになっています。

## 道の駅世羅10周年記念

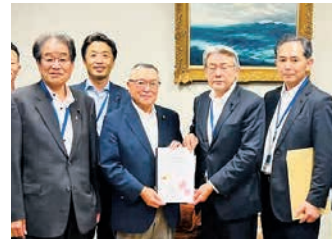
開業10周年記念感謝祭が行われました。中山間地域の要となる場所として、非常に多くの方々に親しまれ利用されています。駐車場の拡大整備等が期待されるほどです。

地元農産物や加工品等々が人気で、地域産業の振興に大きく寄与しており、今後の展開に益々期待が寄せられています。



## 国との関わり

政策の実現は県の税収だけでは実現することができず、国からの支援が重要です。各協議会や会派で国への要望活動を随時行っています。各省庁や広島県選出国會議員をまわり、様々な政策や事業の説明をし、ご理解いただき、予算化のお願いをします。



## 港湾整備

陸側からの状況は以前報告しましたので、この度は海側からの報告です。

松浜地区の埋め立ては高潮対策も兼ねており、早期整備のための予算要望を続けています。

貝野地区の埋め立てはほぼ完了しており、今後6～7年程度の沈下を見ながら整備されます。

離島へのアクセスは船になるため、国の指針に沿って航路維持できるよう働きかけてきました。住みたいところに住み続けることができる政策は大切ですが、全てが思い通りには行かないという現実と向き合いながら、今後も考えていきたいと思っています。



海上清掃船「じょうようⅡ」と出会いました。一般社団法人清港会は、広島県内の主要港湾およびその周辺海域の漂流物や汚物などの

回収等を行っています。三原海域は尾道支部に担当して頂いています。広島県は清掃船の貸与や経費の一部を負担し、多くの会員の皆様と共に広島県の海を守っています。

三原内港整備がいよいよ動き出します。港湾ビルは解体され低層な建物になり、周辺は公園やイベント広場が整備され



れます。三原の活性化につながる場所になればと思い、利用者の意見を取り入れるようお願いしています。

## NEWS

来春、佐木島に NOT A HOTEL が開業予定です。

瀬戸内の美しさや美味しさを堪能できる高級施設が三原に何をもたらすか、期待しています。民間事業なので、行政が協力できる範囲は限定的ですが、観光振興に力をいれている広島県としても、前向きな協力をお願いしています。





## ため池

広島県は全国で2番目にため池が多く、大雨等で決壊した場合、人や建物に被害を及ぼす可能性があることから、ため池法により適正な管理が定められています。

写真のように、ため池堤防の一部が崩落し決壊の危険がある場合は改修あるいは廃池が望ましく、その場合行政からの支援を受けられる場合があります。被害が起こる前の対策は重要です。



## 歩道・安全

脇道から歩道に直接入れず危険な箇所の改善について、通学・通勤路でもあるため、早期対応をお願いしました。時間がかかりましたが、実現できて安心しています。



## 草木除去

草木は短期間でよく伸び、視界の妨げになり危険です。こういった箇所は非常に多く、いろいろお願いするのですが、なかなか順番が回ってきません。この写真は、ご近所の高齢者が「スーパーに行くのに見通しが悪くて怖い」とのことでした。そこで、とりあえず視界の確保だけでもと、高枝のこぎりで切りました。剪定しただけでも腕が2日間筋肉痛になりました。予算取りをしっかりとお願いしていきます。



## 県政報告会

県政を身近に感じていただくために報告会を行っています。お気軽にご連絡いただければ、日程調整します。

内容は、県政、私の活動報告と今後の展開、質疑等々ですが、ご希望に合わせます。何人でもかまいませんのでお気軽にご相談ください。



(7人)



(25人)

**皆様のご意見・ご要望をお寄せください**

☎0848-60-9022 FAX0848-60-9023

✉info@itoeiji.com

いとう英治ホームページでは、ご意見・ご要望を送信画面よりお送りいただけます。また、より詳しい情報、日々のご活動も随時ご覧いただけます。

皆様、いつも応援・ご支援いただき誠にありがとうございます。県議として2期目の任期も半分が過ぎました。今号も活動の一部ではありますがお知らせします。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願いします、そしてご意見やご要望等いつでもお待ちしております。

## 各地イベント

地域の活性化や人の笑顔は、イベントの数に比例すると思っています。お世話をする方には感謝しています。



無形文化財 布団だんじり



鯉のぼり立て



こいのぼり祭り



枝豆祭



アスパラ祭り



## 主要インフラ整備 進捗

### 広島中央フライトロード

環境調査等を実施しており、今後事業化に向け地元市町との調整を図りながら国土交通省との協議調整を進めて行く。

### 福山本郷道路(2号線バイパス)

計画段階評価を進めるための調査として手続きを進めています。(概略ルート・構造の検討)

## 福祉施設整備(世羅)

共同生活援助事業所(地域の中に住まいを確保し、障がいのある人が協働して自立した生活を送れるよう支援を提供する施設)が建築中です。

福祉環境整備・向上と雇用の創出が期待されます。

県での採択後に紆余曲折ありましたが、最終的には理事長と世羅町長の強い思いが県を動かしました。私もお手伝いする中で、良い経験をさせていただきました。



facebook



ホームページ



Instagram



LINE



YouTube